

ハンガリーのお笑い芸人 ナジ・バンドー・アンドラーシュ

## その五 トラバントに寄す二題

飯田緑

トラバントという名前の自動車のことを聞いたことはおありだろうか？東独製の小型乗用車で、一九五八年から一九九一年まで生産され、東ヨーロッパ中を席卷した大衆車だったが、自由競争の存在しない共産圏で長年性能アップのための開発を怠ったため、ベルリンの壁崩壊後は、その自由競争を勝ち抜いてきた西側車に対抗すべくもなく消えた。この車について必ずついてまわったのが「紙で作られた車体」という言葉で、実際に外装に使われていたのは繊維強化プラスチックだったが、そう言われるほどペコペコに見えるボディだったということだろう。このトラバントにはもう一つ神話があつて、注文してから納車されるまでの長さで悪名高かったのである。地元東独でも、長いときは十年以上待たされたとか。(なんせ共産主義体制というのは、品薄になってからではなく、店頭で売り切れになってからまた作り始める。それに、国の重要な外貨資源として半分は輸出用にまわされたらしい。つまり、輸出国でも輸入国でも「お待たせ車」だったわけである) 国産車のないハンガリーもこの車の天下だったが、購入者は待たされた。今回ご紹介するネタはこのトラバントがテーマ、ナジ・バンドー自身この車に乗っていたらしく「車待ちのイライラを自分で体験しなければ、このネタは書けなかった」と語っているのが「メルクールとの文通」、作者自身の経験が投影しているだけに、見事なまでに平明でわかりやすくスカッとしているうらみ節の傑作、ほとんど訳注をつける必要がなかった。

ここで白状してしまうと、訳者は長年トラバントが東独製であることを知らなかった。てっきりハンガリーの国産車だと思っていたのだ。メルクールというのはトラバントを生産している会社の、販売部門の（そしておそらく顧客のクレーム担当部門の）マスコット・キャラか何かであろうと想像していた。今はやりのゆるキャラかな、と。今回翻訳にあたって調べてみて初めて、このメルクールがハンガリー側の輸入エージェントでディーラーのメルクール社だったことがわかった。訳者は一九八五年に発売されたナジ・バンドーの作品特集のカセットでこのネタを聞いたのだが、以来ニヤニヤしながら

らこれを聞き、ときにはフレディ・マーキュリーはこのメルクール（マーキュリー）のことは知ってたかな、知ってても気にしないですぐ忘れちゃっただろうな、などと妄想していたのだから、知らないということは恐ろしい。少なくとも、これで墓まで持って行く誤った思い込みが一つ減ったことになる。（だからと言って、何かが変わったわけでもないが）

もう一つの「トランバントの詩<sup>うた</sup>～詩人の爆発」は、トランバントものとは言っても、正確にはトランバント・ドライバーが主題。「一九八六年ラジオ・キャブレール成功作選」というカセットに収録されたネタだが、「ボキャブラリー」という作品と二本立てになっている。こちらは、初恋の告白という重大な場面でもろくに口のきけないティーン・エイジャーの少年が、駅のエレヴェーターで誰かと衝突したとたん俄然ものすごい表現力を発揮する、という内容で、「寿限無～の長助」一回分位の長さの悪口をすさまじい早口でまくしたてる。もう一つの「トランバントの詩<sup>うた</sup>」は、トランバント・ドライバーをののしる言葉を詩でやったらどうなるかという内容だが、要は「ののしりあい」という局面ではハンガリー人がいかにすさまじくなるかを描いているのである。ナジ・バンドーがお手本と仰いだユハース・フェレンツは一九二八年生まれで、二十世紀後半のハンガリー文学正史を代表する詩人の一人である。「トランバントの詩」にでてくる、華麗にして難解な暗喩の数々は、実は多少もじってはあるものの、ユハース・フェレンツの詩作品にちゃんと出てくる。「翼ある仔馬」（日本だと一般には「せむしの仔馬」になる）は一九四六年発表の処女詩集に収録された同名の詩に、「クローバーの外皮」や「化石の巨大な古代ザウルス」も「触れあいの夜」（一九八七）、「シャーンタ家」（一九五〇）といった詩にでてくるので、ネタ元として紹介するべきか迷ったのだが、なんせ短編小説一篇にも匹敵する長大な作品だし、何よりも、訳者には詩歌を翻訳する才能皆無であることを考慮してあきらめた。要するによく知られた「詩」のもじりなんだとってください。

メルクールとの文通

ナジ・バンドー・アンドラーシュ

自動車販売店様

記念日気分でこの手紙を書いています。私がトラバントの予約・前払いをしてちょうど五年目になります。なんと麗しい日だったことか！・・・自分でトラバントの色を選ぶことが出来たのです！・・・とても容易でした、灰色しかなかったので・・・

受注確認書によればおそらく七十六年にはトラバントを入手出来るとのこと。二千七十六年に！・・・

あとどのくらい待たねばならないのですか？ どうかご返事ください、それが無理なら、トラバント一台をお送りください。

ご挨拶と共に、サボー・フバ

ご予約をくださったお客様！

御手紙をいただきありがとうございますございました！・・・われわれは大層さびしかったのです。これこそ待ち焦がれていたものでした！・・・

残念ながら現在トラバントは在庫がございません、当社の配送担当部門で部内再編成があったためです、そして現在は車椅子のみお届け可能です。

一方われわれは今後のリニューアルの準備中です！・・・新型の、価格アップしたトラバントではすでにちゃんとタイヤがふくらみますし、ハンドルは回転可能となり、ドアは外向きに開きます！・・・忍耐をもってくださるようお願いいたします。忍耐こそがトラバントを作り出すのです！

敬具 全ての人の良き友メルクール

追伸 あなたが無免許でも、私は気にしません。

わが愛しき、唯一の人メルクールよ

貴社の御手紙を今入手いたしました、ちょうど六年めです・・・

未だに私のトラバントの順番が来ないことに感謝します、おかげでわが隣人がキズだらけの車なのに対して、私のは依然としてまっさらのままだからです。

わが忍耐は無限、わが命は有限です！

友情とともにご挨拶を！フバ

追伸 一週間前に試験を受け、免許証は持っています！

親愛ならわれらがフバ！

あなたのトラバントをお守り出来ることこそが、われわれの喜びとするところです。

いつでもわれわれを信頼してください！・・・

トラバントが再び値上がりしたことは事実ですが、リニューアルしたことも事実です。すでにトランクは開閉可能となりましたし、フロント・ガラスも防水ガラスとなりました！・・・

車がお手元に届くまではどうぞおおいに歩いてください、それこそ若さの秘訣です！・・・

免許証取得おめでとう、メルクール

追伸 われわれがいわゆるスピーディなサービスを売り物にしていないことは、よく心得ておりますが、この国におけるガソリン料金の値下がりと共に、車も早期にご入手いただけるものと思います。

わがメルクール！

五年もたってからお手紙を書くことをお詫びしますが、一つにはせっせと歩いて走ることに時間を奪われたため、もう一つには静脈瘤手術を受けたためなのです・・・

私がおたずねしたいことはただ一つ、ひょっとして貴社の倉庫には塗装に

難があり、キズのついたトラバント・ハイコマット（足に障害がある人のためのオートマチック・クラッチ・システムを搭載したタイプ）が一台ないかということなのです！・・・

敬具 あなたのフバ

親愛なるわれらがフバ！

健やかな調子の御手紙を喜びとともに拝読いたしました！

おおいに歩いてください！どうぞそのまま！車はありません！

メルクールが抱擁します。

追伸 トラバントは再び値上がりしましたが、それと共にリニューアルいたしました。すでに灰色一色だけではありません、救急箱が赤色になりました！・・・

メルクールちゃん！・・・

いささか読みにくかったら申し訳ありません、すでに手がふるえるのです。私が年金をもらえるまでまだ五年ありますが、発狂するまではせいぜい二年です・・・考えてもみて下さい！・・・孫たちの計算では、私の払い込んだ前金の分の利子だけですでに車の価格を達成するそうです！・・・私がトラバントを受け取りに行き、あなた方が数百フォリント返金してくれるときは、どれほどすばらしいものとなるでしょう！・・・

炎の抱擁もて。フバ

追伸 昨日私の免許証は六度めの更新を受けましたが、私は一度も使ったことがありません！・・・

親愛なるわれらがフバおじさん！

故人となった同僚に代わってこの手紙を書いています・・・

彼が亡くなってすでに一年・・・トラバントを求めるお客様の手紙の入ったボール箱を積んだ書類棚が倒れ、その下敷きとなったのです。

救急車の隊員が、彼のわれわれにあてた遺言を聞いていました。「サボー・フバのことを最重要優先問題と思うように」・・・というわけで親愛なるわれらがフバおじさん、いつでもわれわれを信頼してください、ですが車は当てにしないでください！

あなたを尊敬する、二代目メルクール

親愛なるメルクール・ジュニア！

心からお悔やみ申し上げます！・・・人生とはこんなもの！・・・亡くなる人がいる一方で、車なしで生き続ける者がいる！・・・

新たな値上げの際のリニューアルについて私には切なる願いがあります・・・私が一体どんなものを考えているかということ・・・シンプルな車椅子でありますように、ということなのです、色は君にお任せします！・・・

フバおじさんからご挨拶を

追伸 わが健康状態を考慮して免許証は取り消されました。

われらがパパ・フバ！

あなたの車椅子を、トラバントのご請求と別に（延長しておきます）仕事仲間と思って、健やかにお使いください。

メルクール

拝啓メルクール様

亡夫の車椅子が届きました・・・ありがとうございます！・・・

残念ながら本人はこの到着まで待つことが出来ませんでした。彼は昨日亡くなりました、葬儀は一週間後です・・・

私どもはトラバント購入をキャンセルいたします。

敬具 サボー未亡人

親愛なるサボー未亡人様！

親愛なる昔からのお客様のご訃報に接し真に残念です・・・苦い思いの中にはわずかな喜びも混じっています・・・他のお客様がたの順番がこれにて一番繰り上がりました。

お支払いいただきました全額は利子とともに返金させていただきます。

墓まで忠実なあなたの友メルクール

追伸 ご主人様の葬儀のための霊柩車を準備させていただきます、何色がよろしいかご指定くださいますよう。

### トラバントの詩（詩人の爆発）

ナジ・バンドー・アンドラーシュ

あるとき二人の西側のドライバーの衝突のなりゆきを観察するのに成功した、彼らは車から降り、謝罪し、自己紹介し、住所と電話番号を交換し、挨拶してその場を去った。

同じことが二人のハンガリー人ドライバーの間で起きるなどとは、想像してみる気にすらならない・・・

とりわけドライバーが何と言うか再現するに至っては！

私が思うに、ハンガリーが詩人たちと詩を愛する人々の祖国であるというなら、おそらく一番良いのは、このような場合、粗野な言葉でなく、むしろ抒情詩で述べればどうなるか、今日のわが国の詩人たちが助言を与えてくれることであろう・・・。私はある状況を想像してみた、ハイウェイを一台の車が走っている、横から、路地から一台のトラバントがやって来る。「止まれ」の道路標識あり、ブレーキは踏まれない・・・

二台はぶつかる

ユハース・フェレンツ式だとこのドライバーはトラバントのドライバーに一体何と言うであろうか？

詩人の爆発

おお、汝、響きわたる花の香りの群雲むらくもの中で香りはなつ、せむしで踏みにじられた心を抱く、空に飛びたつ翼もつ、トラバント車の翼ある仔馬の乗り手よ！・・・

汝、道に立ちすくんだ、巨大な太古のマイクロザウルス、紙から形作られた、ダイヤの結晶のトカゲの月の雫たる卵よ！・・・

おお、汝、二気筒エンジンの、クローバーの外皮の輝きとともにパッと煙はき、クリスタルの羊水を吐き、臭き胎盤の臭気をまきちらすアブラムシよ！

おお、汝、八角形の「止まれ」と命じる、標識赤サビのけば立ったぶちだらけの表示内容を無となし、スカンクの臭いすら恥じ入らせる、高濃度スモッグ霧の罵詈雑言よ！

かの背高きクリスタルの輝きはなつ、メルクールの祝福受けし天上の存在が、この太古の褶曲しゅうきよくある路地の小径では、この森羅万象が行き来するアスファルトの器の中では、わが脳みその回転、脳内器官の上下運動では、想像することすらかなわぬもの全てで汝をぶちのめせんことを！

古代トカゲのしっぽが、いと高き、いと深き祈りと共に、太古の歓喜と共に、古代トカゲの睾丸のぼさぼさ、くしゃくしゃの毛のクリスタルの根っこにからめとられた汝に突っ込まれんことを！

おお、車の若駒ペガサスがブツとはなつ、お尻の煙もやで清められた、風が吹き飛ばした、下水管の香りする、かの暗き闇のヴェールに包まれた、悪臭の穴一洞窟のはてに行ってしまうんことを。

汝、獣の姿をした人間よ！

汝、人間の姿をした獣よ！

汝、原始の獣の姿をした原始人よ！

汝、人間の姿をしたクリスタルの牛へと形作られた太古の牡牛の胚よ！

汝、クリスタルの交通法規試験の聖人の片端で、正常、白痴、野蛮な、野性のくびきにつながれた太古の鹿よ！

さてもいかなる母親はぐくに育まれて、わが前に現れたのだ？